

高級魚「マハタ」をつくる

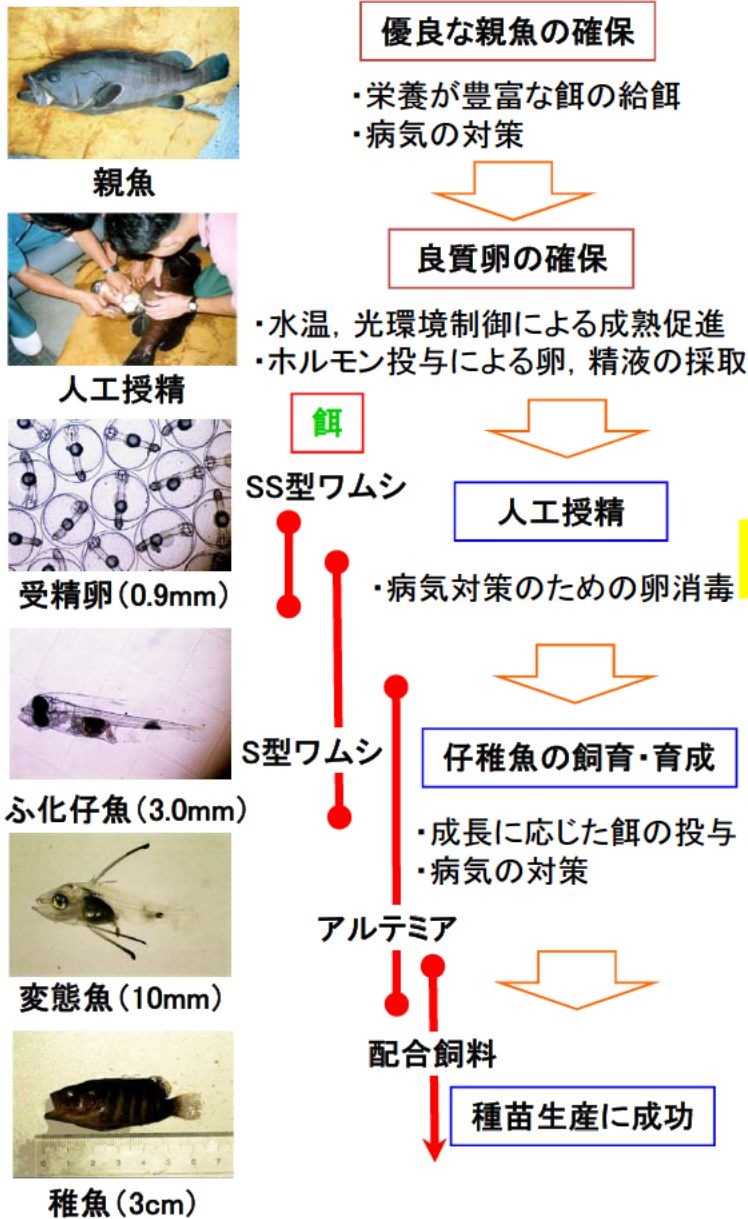
マハタの養殖用種苗生産技術の開発

背景

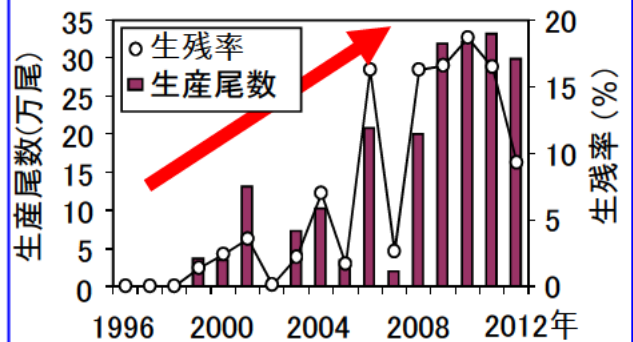
- ・三重県では魚類養殖が盛んに行われており、養殖マダイの生産量は全国第3位(2010年)!しかし、経営体数は減少し(高齢化, 餌価格の高騰), 魚価も低下するなど養殖漁業を取り巻く環境は厳しい。
- ・マダイに続く付加価値の高い養殖漁業を営む必要がある→高級魚のマハタ養殖を行う!

養殖を営むには種苗が必要。しかし天然種苗の入手は困難→人工種苗の生産技術開発に着手。

<種苗生産技術開発の流れ>



年間20~30万尾の安定した生産が可能に!



県内の養殖業者に約10万尾/年を配布し、養殖が開始されている(2009~2012年)。

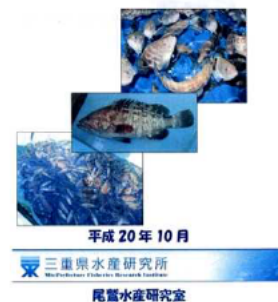


刺身

天ぷら

白身でマダイよりも歯応え, 身もちが良い!
刺身, 天ぷら, 鍋, イタリアン, フレンチもOK!

マハタ養殖マニュアル



- ・マハタ養殖マニュアルの作成, 研修会開催
- ・おわせマハタ協議会の設立



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute Owase Branch

〒519-3602 尾鷲市大字天満浦字古里215-2

TEL (0597)22-1438

FAX(0597)22-1439